

2021年度シンポジウム

新型コロナウイルスの

発生が 社会に与えた影響と 今後の展開

新型コロナウイルスが発生して2年が経過し、
生活や仕事のしかたは大きく変化しました。
本シンポジウムでは、新型コロナウイルスによる影響に関する研究成果を示し、
これからの「レジリエンス型社会」の可能性を探ります。

参加料
無料

2021

11/15

13:30~15:30 OPEN 13:00

実施方法

Zoom Webinarによるオンライン
(事前登録制)

定員

100名

申込方法

参加ご希望の方は、ご氏名、ご所属、メール
アドレス、お電話番号を右記のQRコード、
またはメールアドレスからお送りください。
後日に必要事項を送信いたします。



【お申し込み・お問い合わせ先(地域共創研究センター事務局)】
rcrc.ehime.univ@gmail.com

申込締切

11月12日(金)

主催

愛媛大学社会連携推進機構 地域共創研究センター

共催

愛媛大学社会共創学部

内容

司会：井口 梓(地域共創研究センター副センター長)

1. 開会挨拶

愛媛大学社会連携推進機構 若林良和 機構長(愛媛大学理事・副学長)
愛媛大学社会連携推進機構 地域共創研究センター 寺谷亮司 センター長

2. 研究報告

(基調報告) アフターコロナ社会における地域づくりの方向性
—小さなコミュニケーションから生まれる少人口/多人数社会によるネットワーク型自治—
田口太郎(徳島大学大学院)

ツーリズム・リテラシーとコロナ禍における若者の観光 井口 梓・学生(愛媛大学社会共創学部)
新型コロナウイルス禍でのコミュニケーション施策による効果 松村暢彦(愛媛大学社会共創学部)
感染症の空間的拡散とウィズコロナ時代における地方の国土空間の再評価 張 貴民(愛媛大学教育学部)

3. コロナ禍におけるフィールド教育 —まちなか大学の成果より—

山口信夫(愛媛大学社会共創学部)

4. トークセッション：「レジリエンス型社会」を展望する

登壇者：道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 宮崎光彦 会長
株式会社地域法人無茶茶園 大津清次 代表取締役
松山テイクアウト部 久保正明氏

コーディネーター：笠松浩樹(愛媛大学社会共創学部)

5. 閉会挨拶

愛媛大学社会共創学部 徐 祝旗 学部長